

# 大網白里市下水道事業経営戦略（改定概要版）

（計画期間：令和7年～16年度）

令和8年3月31日  
大網白里市下水道課

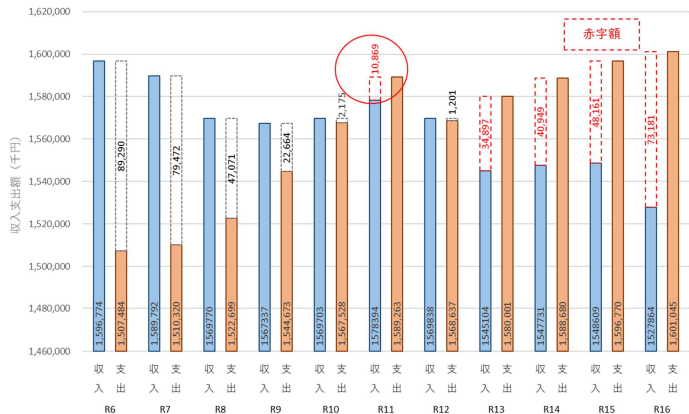
## 1. 経営戦略改定の背景と目的

本市では、令和3年度に「大網白里市下水道事業経営戦略」を策定し、計画的な事業運営に取り組んできました。しかしながら、人口減少や物価上昇などにより下水道事業を取り巻く経営環境は変化しており、将来の財政状況は厳しくなる見込みです。このため、最新の決算状況や財政見通しを踏まえ、経営戦略を改定するものです。

## 2. 長期財政収支の見込み

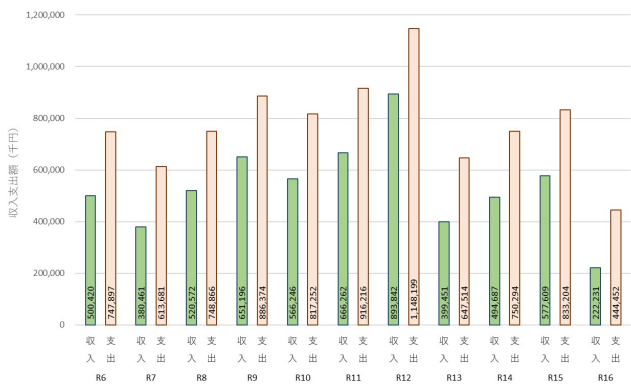
### (1) 収益的収支

収益的収支は、令和4年度に実施した下水道使用料改定の効果により、令和10年度までは黒字を維持する見込みです。一方で、近年の物価上昇や人件費の増加等により維持管理費が増加していることから、令和11年度以降は収支が悪化する見込みです。



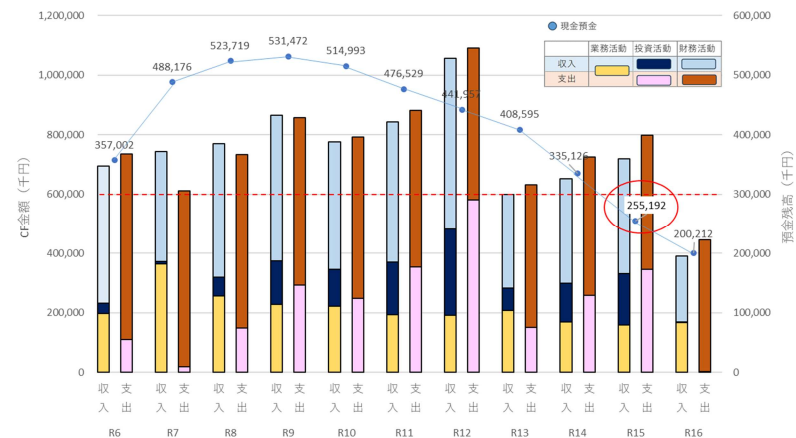
### (2) 資本的収支

今後予定する「下水道事業の統廃合」や「改築更新事業」により、一時的に支出が増加するものの、下水道事業全体の財政運営に与える影響については、今後の財政状況を注視しながら適切に管理していく必要があります。



## 3. 資金収支の推移予測

物価高騰等の影響による収益的収支悪化に伴い、資金残高は令和9年度をピークに減少傾向となり、令和15年度には約3億円を下回る見込みです。このため、遅くとも令和11年度頃までには収支構造の見直しを検討する必要があります。



## 4. 下水道事業の今後の方向性

今後検討予定の経営改善施策（案）は次の6点となります。

- 下水道事業の統廃合【計画期間：令和10年～16年】  
令和10年度に農業集落排水事業、令和16年度にコミュニティ・プラント事業をそれぞれ公共下水道へ統廃合し、維持管理体制の一元化・効率化を図り、事業運営の効率化を推進します。
- 下水道使用料の見直し【計画期間：令和10年～12年】  
下水道使用料は今後ゆっくりと減少し、現行料金体系では事業運営に必要な費用を安定的に確保することが難しくなる可能性があります。そのため、段階的な見直しを検討する必要があります。
- 下水資源の肥料化【検討段階】  
下水処理過程により発生する汚泥を「肥料化」し汚泥処分費用等の削減を見込みます。汚泥処分費用の削減が期待されるものの、新たな投資を伴うことから費用対効果を十分に検証する必要があります。
- WPPP（官民連携）の活用【検討段階】  
国が推進するWPPP（ウォーターPPP）などの官民連携手法の活用により、施設管理の効率化や専門人材の確保が期待されます。ただし、全国的にも導入事例が増えつつある段階であるため、近隣自治体の動向や費用対効果を踏まえながら検討を進めます。
- 未利用地等の活用【検討段階】  
下水道施設の未利用地や上部空間を活用し、太陽光発電設備を導入することで、電力の自家消費による維持管理費の削減と、エネルギー価格変動のリスクの低減を図るとともに、脱炭素化に資する持続可能な事業運営を推進します。  
※浄化センター 約20,000㎡  
※調整池（みどりが丘31,000㎡、みずほ1号11,500㎡、みずほ2号9,000㎡）
- 一般会計繰入金の確保と見直し  
一般会計繰入金は、下水道事業の安定的な運営を支える重要な財源です。今後も物価や人件費等の上昇を踏まえ、これまでの水準を基本としつつ、実情に応じた負担の確保について検討していきます。